

2025年度事業報告書

I 法人の概要

1 基本情報

〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号

学校法人 新静岡学園

電話番号:054-200-0190 FAX番号:054-200-0194

2 学校法人の沿革

昭和40年12月28日	学校法人第二静岡学園寄附行為認可・静岡学園高等学校設置認可
昭和41年 4月 1日	静岡学園高等学校開校、普通科・商業科開設
昭和46年 4月 1日	静岡学園高等学校理数科開設
昭和53年 4月 1日	静岡学園中学校開校
昭和63年 4月 1日	静岡学園短期大学開学、経営情報科・英語科開設
平成 6年 4月 1日	静岡産業大学開学、経営学部経営環境学科開設
平成 7年 9月 5日	静岡学園高等学校商業科廃止認可
平成 8年 4月 1日	静岡学園短期大学英语科を英語コミュニケーション学科に名称変更
平成10年 4月 1日	静岡産業大学国際情報学部国際情報学科開設
平成11年12月22日	静岡学園短期大学廃止認可
平成13年 4月 1日	静岡産業大学経営学部情報マネジメント学科開設
平成17年 4月 1日	静岡産業大学経営学部経営学科・スポーツ経営学科開設 情報学部情報デザイン学科・国際情報学科開設
平成21年 6月29日	静岡産業大学国際情報学部国際情報学科廃止届出 経営学部経営環境学科・情報マネジメント学科廃止届出
平成23年 4月 1日	学校法人新静岡学園に法人名変更 静岡学園高等学校教養科学科開設
平成24年 4月 1日	静岡産業大学経営学部心理経営学科開設
平成26年 3月28日	静岡学園高等学校普通科・理数科廃止認可
平成29年10月12日	学校法人新静岡学園寄附行為変更認可(収益事業)
令和 3年 4月 1日	静岡産業大学スポーツ科学部スポーツ科学科開設
令和 5年 7月 3日	静岡産業大学情報学部情報デザイン学科・国際情報学科廃止届出

3 設置する学校、学部、学科等

静岡産業大学 経営学部 経営学科
 (静岡県磐田市大原1572番地 1) スポーツ経営学科(磐田)
 (静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号) 心理経営学科

スポーツ科学部 スポーツ科学科
 (静岡県磐田市大原1572番地 1)

静岡学園高等学校 全日制課程 教養科学科
 (静岡県静岡市葵区東鷹匠町25番地)

静岡学園中学校
 (静岡県静岡市葵区東鷹匠町25番地)

(2025年5月1日現在)

4 各学校等の入学定員、現員数

(単位:人)

学校名	学部等名	学科名	入学定員	3年次 編入学定員	入学者数	収容定員	現員
静岡産業大学	経営学部	経営学科	280	10	251	1,140	1,102
		スポーツ経営学科	—	—		—	
		心理経営学科	70	—		280	
	スポーツ科学部	スポーツ科学科	120	—	118	480	509
	合計			470	10	369	1,900
静岡学園高等学校	全日制課程	教養科学科	360		371	1,080	1,056
静岡学園中学校			90		87	270	276
法人合計			920	10	827	3,250	2,943

(2025年5月1日現在)

5 役員、評議員、会計監査人に関する事項

【理事】

理事長 鈴木善彦
 理事 堀川知廣
 理事 鳴嶋吉彦
 理事 佐野典秀
 理事 高橋和子
 理事 幡野公一
 理事 池ヶ谷雅一
 理事 喜久里要
 理事 大坪檀
 理事 戸上常司
 理事 林 範夫
 理事 高木昭三
 理事 鷺崎早雄
 理事 丹羽由一
 理事 中西勝則

【監事】

監事 岡田修二
 監事 馬場孝

【評議員】

評議員 三枝幸文
 評議員 小林正敏
 評議員 江崎晴城
 他 14人

【会計監査人】

静岡監査法人

(2026年3月31日現在)

【役員賠償責任保険契約】

保険契約者: 日本私立大学協会(団体契約)

(引受保険会社: 東京海上日動(幹事)、三井住友海上、明治安田損害保険)

6 教職員に関する事項

(単位: 人)

部門	区分	教員	職員	内訳			
				本務教員	本務職員	兼務教員	兼務職員
経営学部		100	61	40	46	60	15
スポーツ科学部		30	20	18	17	12	3
静岡学園高等学校		95	19	65	10	30	9
静岡学園中学校		22	1	18	1	4	
法人			2		2		
計		247	103	141	76	106	27

(2025年5月1日現在)

Ⅱ 事業の概要

[主な教育・研究の概要]

1 法人

少子化の進展による定員割れや大学再編への動きといった厳しい社会的背景を踏まえ、法人の理念である「公器」として教育・研究活動を通して社会貢献を果たしていく為に、財務基盤の安定化に向けた定員確保や収支改善、施設の有効活用や組織の活性化を図る人事、組織の見直し、そしてガバナンス体制の強化に向け取り組んでいます。

- ◆法人、各設置校の課題などを協議するために理事長直轄の戦略会議を定例化し、各設置校と連携して戦略の具現化・実質化に努めました。
- ◆健全な経営体質を維持するため、各設置校の中期計画に基づいて、具体的行動計画を作成し、業務を推進しました。
- ◆財務改善を図るために設置校ごとに業務の見直しを行い、経費予算の削減を実施しました。
- ◆全職員の意向調書の確認、設置校全ての課長とのヒアリング、次年度の予算編成との整合性、理事長・学長・校長方針等を基に優先順位付けを行い、人事・組織編制を行いました。
- ◆若手・中堅教職員を対象に公募した「ビジョン・メイクプロジェクト」に、有志 11 名が参加、半年の期間をかけ、主に大学における問題・課題の抽出・分析と具体的解決策を経営陣に示しました。
- ◆学生・教職員にとって安全で快適な学校施設の長寿命化を推進するため、既存の建物のライフサイクルを意識した、長期的な視点による設備改修を推進しました。

監事監査においては、本学園の業務の執行に関して、学校経営の健全性と効率性の観点から検証を行うとともに、教育の現状や研究活動の活性化への取り組み状況等、教学における監査を実施しました。また、理事長、学長、校長等に対して、経営方針や教育方針の達成度の確認、教職員に対しては業務執行状況の確認、労働環境等のヒアリング、業務改善及びDX化に関するアンケート調査等を実施しました。

(延べ監査回数 24 回)

改正私学法及び寄附行為に基づき、新たに選任した会計監査人と連携しながら法人の財産及び収支の状況を監査しました。

2 静岡産業大学

【学内組織・教育体制等】

◆「Iwata Dream Live at 静岡産業大学」の開催

磐田市市制 20 周年を記念した音楽イベントとして「Iwata Dream Live at 静岡産業大学」を開催しました。磐田市ゆかりのアーティストスペシャルライブに加え、本学軽音楽部とのコラボステージを実施しました。また、静岡県立磐田北高等学校吹奏楽部、静岡県立磐田西高等学校ダンス部もゲスト出演し、音楽を通じた地域連携の推進を図りました。

◆「静岡産業大学ダンスの夕べ 2025～ダンスダンスダンス～」の開催

12月20日に磐田市民文化会館「かたりあ」にて開催しました。なお、本事業は磐田市及び磐田市教育委員会の後援を受けて実施しました。

(令和7年度公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ活動等普及奨励助成事業助成金)

◆私立学校法の改正を受け、中期計画と、より具体的な年度計画、さらに実施行動計画、スケジュールを落とし込んだアクションプランを作成し、「教育の質的転換に向けた教学マネジメントと改革」等を重要政策に位置付け、「海外研修」の実施により継続的な教育の質的向上を目指すなど様々な取り組みを進め、2025年度は海外研修 A(タイ)9名、海外研修 A(韓国)7名、海外研修 B(台湾)7名、海外研修 B(香港)4名の学生が参加し、充実した海外研修を実施することができました。

◆大学での学び方について研究する「第15回ラーニングメソッド研究会」を開催し、「地域と連携した探究活動の手法」をテーマに、学生2名と教員4名が研究成果の発表を行いました。発表者が取組事例を紹介し、その手法を共有することで、専門演習の講義や専門ゼミナール、課外活動等に活かしていくことを目指しています。

◆第20回全学研究発表大会を開催しました。本大会は多様な研究分野の教員がお互いの研究を聞き、また議論することによって、本学の研究の質的向上を目指すために行っています。本年度は4名の教員が研究成果の発表を行いました。

◆最先端の実践的教育を展開するために、産業界及び各種団体による寄付講座を13講座開講しました。
(磐田キャンパス：磐田市、ヤマハ発動機、静岡県経済産業部(新産業集積課)、浜松いわた信用金庫、静岡ブルーレヴズ、タニザワフーズの6講座)

藤枝キャンパス：藤枝市、藤枝商工会議所・藤枝ロータリークラブ、静岡銀行、中部電力、電通東日本、TOKAIグループ、静岡県行政書士会の7講座)

◆入学試験合格者の入学意欲を高めるため、合格者向けイベントを開催しました。在学生が企画したイベントに両キャンパス合わせて99名の合格者が参加し、交流を深めました。

◆経営学部において、リーダーを育成するため、高校等での探究研究(課題研究)で学び得た力を生かし、自身で設定した地域課題や社会的問題などのテーマに基づき、プレゼンテーションを行う「探究プレゼン入試」を行い、合格者には特待生資格を付与しました。

◆海外協定校からの留学生は、3年次編入学生として前期に廈門大学国際学院から7名、廈門工学院から3名、浙江樹人学院から1名、後期に廈門大学国際学院から57名、短期留学生として大真大学から前期に2名、後期に1名、浙江樹人学院から前期に4名が入学しました。

◆国家試験での保育士資格取得を目指すため、全学生を対象に、「保育士養成塾」を開設し、磐田キャンパスに講師が出校して、対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス方式で開設しました。2025年度は前期8名、後期7名が登録し、1科目の合格者ができました。

◆卒業後に就職を希望する学生向けに、次のとおり学内説明会を実施しました。

<2026年2月2日(月):磐田キャンパス> 出席学生59名、参加企業・団体18

<2026年2月3日(火):ホテルアソシア静岡> 出席学生159名、参加企業・団体・機関62

<2026年2月10日(火)午前:藤枝キャンパス(公務員)> 出席学生9名、参加機関5

<2026年2月10日(火)午後:藤枝キャンパス> 出席学生46名、参加企業22

上記に加え、愛知大学・静岡文化芸術大学・静岡理工科大学・常葉大学・浜松学院大学と共催で、2026年2月13日(金)にアクトシティ浜松で「浜松地域企業セミナー」を開催しました。出席した本学学生は18

名、参加企業・団体・機関は62でした。

- ◆地域社会に貢献し、公共の福祉の担い手となる人材を育成するため、「公務員塾」をオンラインで開講しました。また、2025年度から理数系科目の基礎クラスは藤枝キャンパスに講師が出校して、対面とオンラインを組み合わせたハイフレックス方式で開講しました。
- ◆2025年4月1日付でしずおかフィナンシャルグループのSFGマーケティング株式会社と外国人留学生の地域定着をめざす「職業紹介に係る業務提携契約」と締結し、日本での就職を目指す留学生の支援策の一つとしました。この仕組みを活用し、2026年3月に経営学部(藤枝)を卒業した1名の留学生(ミャンマー出身)が就職先を得ました。
- ◆日本での就職を希望する留学生向けに「留学生就職説明会」を2025年6月、10月にハイフレックスで開催しました。
- ◆有料職業紹介(就職エージェント)の利用に関して注意を促す説明会を、2025年12月8日、9日、10日にオンラインで開催しました。
- ◆静岡産業大学スポーツ公式アプリの導入を行いました。これは、強化スポーツクラブ等の情報一元化を目的に、学内スポーツの情報共有、本学のブランディング強化及び入学者の増加に寄与することが期待できます。
- ◆強化スポーツクラブとして、トップアスリート部を新たに創設しました。現在、男子ラグビー(静岡ブルーレヴズ)、女子ラグビー(アザレア・スポーツクラブ)、ジャンプロープ(縄跳び)、総合格闘技(パンクラス)、プロサーフィンにおいて、全国レベルで活動しています。
- ◆「静岡産業大学マッチデー」として、なでしこ1部リーグ「静岡SSUボニータVS日体大SMG横浜」を2025年9月28日、磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場にて開催、本学をPRしました。
- ◆一般社団法人大学スポーツ協会/UNIVAS AWARDS2025-2026(大学スポーツプロモート優秀取組賞)に応募し、『強化スポーツクラブ「トップアスリート部」の創設による大学PR活動の強化』について、入賞することができました。
- ◆強化スポーツクラブ指導者を対象とした研修会について、日本陸上競技連盟強化育成部長の村井将彦氏を講師にお迎えし、2026年2月に実施しました。
- ◆強化スポーツクラブ学生に対して、学生意識調査を2026年2月に行いました。活動の実態を把握して、これからの学生満足度向上に活かしていきます。
- ◆2025年10月、本学は那覇西高等学校(沖縄県那覇市金城)と相互の教育資源を活かしながら、高大連携を積極的に進めることを目的に、教育交流協定を締結した(県外高等学校とは初)。

【施設・設備関連】

- ◆MS365 や Google Workspace、Zoom 等のクラウドサービスによるトラフィック負荷を分散するため、A10 Thunder(クラウドプロキシ)を導入しました。
- ◆各キャンパスに点在していたファイルサーバを統合して、藤枝または磐田からインターネット経由でアクセスできる統合ファイルサーバを構築しました。

(1) 磐田キャンパス(経営学部、スポーツ科学部)

【学内組織・教育体制等】

- ◆2021年4月に開設したスポーツ科学部では、初年度109名、2022年度122名、2023年度155名、

2024年度136名、2025年度118名の学生が入学し、最先端の設備を活用しながら、スポーツについての科学的根拠に基づく論理的な学びを実践しています。また、スポーツ科学部スポーツ科学科に設置した中学校教諭一種免許状(保健体育)課程及び高等学校教諭一種免許状(保健体育)課程では、1～4年122名の学生が教員を目指して必要な科目を履修しています。

- ◆スポーツ科学部1年次の基礎ゼミナールでは、「ジュビロ×スポーツビジネス×地域」をテーマにゲストスピーカーを招聘し、スポーツ科学部での学び、スポーツを「する」「みる」「ささえる」「知る」の一端を学ぶ機会を設けました。
- ◆スポーツ科学部のリーダーを育成するため、自身で設定したスポーツ競技や運動の技術・やり方等のテーマに基づき、技術・方法の実演や資料を用いたプレゼンで選考を行う「スポーツプレゼンテーション入試」を実施しました。
- ◆「次世代技術で産業構造を転換」をメインテーマに、「第15回産業振興フェア in いわた」が190企業・団体の参加を得て、11月7・8日に開催されました。本学からは経営学部とスポーツ科学部、総合研究所がブースを出展し、熊王教授、川合講師、大島講師、塩梅講師等が運営を担当しました。
- ◆2025年度実施の公立教員採用試験において15年連続合格者を輩出しました。6名のうち3名が現役合格者です。現役 静岡県3名(特別支援学校中学部2名、高等学校1名)その他では、私立高等学校に2名採用されました。
- ◆2024年度にスポーツ科学部一期生が卒業したことを記念し、現役で教職についている卒業生と在学生の交流を目的に「教職ホームカミングデイ」を開催しました。
- ◆保育士養成課程の第8期生5名が国家資格である「保育士資格」を取得しました。
- ◆難関資格に挑む学生を応援する「資格・免許取得奨励金」について対象者4名4件に支給しました。TOEIC700点以上(1名)、宅地建物取引士(1名)、特別支援学校二種(1名)、日本語能力検定N1(1名)。
- ◆2025年度実施の公務員採用試験において11件内定を獲得しました。国家公務員3名(静岡刑務所、名古屋拘置所、防衛省海上自衛隊)、行政職2名(長野県茅野市、沖縄県読谷村)、警察4名(静岡県、兵庫県、福井県、岡山県)、消防士2名(磐田市消防、駿東伊豆消防組合)
- ◆デュアルキャリアで10名の進路が決定しました。
- ◆静岡新聞社との共催、学生と企業の交流企画(4回)を実施しました。内容はテーマを決めて社会人と意見交換をして、発表とフィードバックをいただきます。1回の学生の参加者は平均8名でした。
- ◆スポーツ科学部では、7つの進路先を把握するためのフォーマットからなる「なるにはシート」を活用し、学生の進路先を把握するとともに、アドバイザー教員による学生指導を行いました。
- ◆「(株)CANVAS×静岡産業大学×磐田市消防本部」(産学官連携)の三者による連携協定締結式を2025年10月21日に実施しました。本学スポーツ医科学研究センターの研究による専門的知見と(株)CANVASの最新技術を活用し、消防職員の計画的な体力・健康づくりを推進することを目的としています。
- ◆地域団体との連携を強化し、地域スポーツの推進を図るため、2016年に設立した「いわた総合スポーツクラブ」は、幼児から高校生までを対象とした総合型地域スポーツクラブ(種目:体操、サッカー、トランポリン、柔道)で、461名の参加を得て活動を行いました。また、昨年度に引き続き、今年度4月から成人向けのヨガ教室を開講、3クール実施し、85名(地域住民63名、教職員・学生22名)の参加がありました。
- ◆いわた総合スポーツクラブの会員管理・予約・決済システムを2025年11月より導入しました。これは会

員情報を一元管理できるウェブシステムで、業務効率化と共に、保護者、会員満足度の向上等が期待できます。来年度より本格導入、運用していきます。

- ◆大学祭「蒼樹祭」では、軽音部などによるパフォーマンスや毎回好評のフリーマーケットや模擬店などを開催、約 900 名が来場しました。
- ◆磐田図書館を「静岡産業大学経営学部卒業研究・制作展」の磐田キャンパス会場として貸出し、学生たちは来館いただいた方々とのポスターセッションを通して交流を図ることができました。
- ◆磐田市立中央図書館で開催された「図書館フェスティバル 2025」では、学生の図書館サポーターをはじめとする学生ボランティアがフェスティバルの運営をサポートしました。

【施設・設備関連】

- ◆空調機更新工事を実施しました。(2号館 2204/2205 第1コンピュータ演習室、準備室、2301 大講義室、2403 講義室を更新)
- ◆老朽化した各教室(3301・3302・3401・3402)のプロジェクターを 5,000lm 以上の最新モデルに更新しました。
- ◆3105 教室の後方ディスプレイ 2 台(VGA 対応)が故障したため、55 型液晶ディスプレイ 2 台(HDMI 対応)に入れ替えました。

【総合研究所事業】

- ◆市民や学生を対象とした資格講座(宅地建物取引士、ファイナンシャル・プランニング 3 級の 2 講座)を開講し、51 名(うち本学学生 13 名)が受講しました。第 32 回公開講座では、草地磐田市長をはじめ、大村慎一客員教授、小泉教授に登壇いただき、96 名の来場者があり(前年度:78 名)、前年度を上回る参加者数となりました。また、リカレント講座には、延べ 216 名の参加がありました(前年度:延べ 171 名)。継続的な講座実施により、地域からの関心と参加が高まっております。

(2) 藤枝キャンパス(経営学部)

【学内組織・教育体制等】

- ◆地方自治体等の地域課題解決事業として、静岡市など県中部 5 市 2 町(3 件)、藤枝市(3 件)、ふじのくに地域大学コンソーシアム(3 件)が採択されました。
- ◆難関資格に挑む学生を応援する「資格・免許取得奨励金」を、税理士試験科目<財務諸表論>(1 名)、宅地建物取引士(4 名)、TOEIC700 点以上(1 名)、行政書士(1 名)、7 名・7 件支給しました。
- ◆2025 年度実施の公務員採用試験において 5 件内定を獲得しました。
防衛省・自衛隊<幹部曹候補生>(1 件)、静岡県警察<警察官>(2 件)、静岡県警察<警察行政職>(1 件)、御殿場市<行政職>(1 件)
- ◆キャリアデザイン講座<Ⅰ:2 年生必修(2025 年 12 月)、Ⅲ:3 年生必修(2025 年 12 月)>で企業研究会を実施しました。
- ◆インターンシップ・1日仕事体験・オープンカンパニーへの参加を希望する学生に向けて、「インターンシップ・1日仕事体験・オープンカンパニーを知る会」を 2025 年 6 月、7 月に計 5 回開催し、3 年生を中心に多数の学生が出席しました。
- ◆「日本語教育研究センター」の主催による「俳句コンテスト」を実施し、全国から 2,060 名(一般の部 285

名、学生の部 1,775 名)の応募がありました。

- ◆大学祭「鳳翔祭」では、毎回好評のチャリティーバザーや模擬店、軽音部・高校ダンス部・アイドル・お笑い芸人によるステージなどを開催し、2 日間で約 800 名が来場しました。今回は学生の提案により模擬店で PayPay 決済を導入したほか、ステージ音響は学生が起業した会社が担当をしました。
- ◆浦田周社木版画美術館において「富士のあるふるさと」と題した企画展を 2025 年 11 月 4 日より開催しており、学生の図書館サポーターが作品選出などに協力しました。
- ◆藤枝市との連携協定に基づき、藤枝市役所及び藤枝市立駅南図書館での展示のため、浦田周社木版画美術館の所蔵作品を貸出しました。

【施設・設備関連】

- ◆1205 パソコン演習室に Windows ノートパソコン 40 台を導入しました。
- ◆卓球部新設に伴い、(株)東名自動車学校様より卓球台 2 台を寄贈していただきました。
- ◆グラウンド LED 照明を更新しました。

【総合研究所事業】

- ◆市民や学生を対象とした資格講座は、藤枝駅前キャンパス(通称 BiVi キャン)を会場とし、宅地建物取引士、ファイナンシャル・プランニング 2・3 級、IT パスポート、データサイエンティスト検定リテラシーレベル、生成 AI パスポートの 6 講座を開講し、96 人(うち本学学生 42 人)が受講しました。宅建士講座では受講者 14 人のうち 9 人(うち本学学生 3 人)が合格し、資格を取得しました。
- ◆藤枝市より「藤枝市民大学」の実施運営事業を受託し、藤枝キャンパス及び藤枝駅前キャンパスにおいて、一般教養コースは一般教養講座(10 講座)159 人・地域学講座(10 講座)103 人、リカレント教養・リスキリングコースはリカレント教養講座(10 講座)23 人・リスキリング講座(10 講座)30 人、資格取得講座(7 講座)103 人、ドローン体験講座(2 講座)11 人が受講しました。
- ◆「しずおか中部“未来学”～学びにふれ、描く私の Next Stage～」をテーマに藤枝市から連携共同講座事業を受託し、県内 6 大学との共同講義、大学紹介を開催しました。講義等には県内外から 22 人の大学生、高校生が参加しました。講義の講師は 6 大学の学生が務め、司会進行等運営は本学学生が行いました。
- ◆藤枝市、地元企業の振興発展に係る課題をテーマに情報及び学びの機会を提供する産官学連携懇話会特別講演会を開催しました。藤枝市を中心に県内の産官学各方面から 56 人が参加、講師に前内閣総理大臣補佐官 矢田わか子氏を招き「若者・女性に選ばれる地方になるには～官民連携で女性 DX 人材育成～」をテーマに講義をいただきました。

3 静岡学園中学校・高等学校

【校内組織・教育体制等】

- ◆2025 年度は、大きな自然災害や感染症による教育活動の停滞もなく、年間を通じて全ての教育活動を順調に進めることができました。生徒たちは安定した環境の中で、各々の目標に向かって学業・部活動・行事などに真摯に勤めました。

- ◆今年度も昨年度に引き続き「カリキュラム検討(中高一貫教育)」、「緑風塾(運営・内容検討)」、「同窓会活動検討」、「危機管理」、「情報・視聴覚機器」といった課題別のワーキンググループを、校務分掌や学年の垣根を超えた職員で組織しました。各グループでは、教養科学科としての教育活動の深化・円滑化にとどまらず、次世代を見据えた新たな教育モデルへの転換や革新的な方策についても積極的に検討を重ね、その一部を実践へと繋げました。
- ◆2024 年度から導入した新制服は生徒の間で完全に定着し、学校生活の新しいシンボルとして親しまれています。また、近年の夏季における猛暑を鑑み、生徒の健康管理を最優先事項として、ハーフパンツ着用での登下校の許可や、熱中症対策を強化した新たな丈の短い制服の導入についても検討を進めています。
- ◆教員のスキルアップを目的に、全教員を対象とした計 4 回の研修を実施しました。内容は「シヅクリ」のファシリテーション習得、生活指導のあり方の再確認、アナフィラキシーやてんかんへの危機管理対応、および学校評価分析に基づく運営改善の方策共有など多岐にわたりました。また、これまでに蓄積したデジタルスキルを活かし、ICT による効率的で質の高い教育実践を継続しています。
- ◆「自主・自律の精神」、「共生の精神」、「真理と生命を尊ぶ精神」、「進取の精神」の教育理念に基づき、10 年後・20 年後、地域や世界に貢献し、真のエリート・リーダーとして未来を創造する人材を育てるため、以下の 6 つ(①～⑥)のプログラムを推進しました。
 - ① SHIZUGAKU GOLDEN TIME(略称「SGT」)
 - ・本校教員による特色ある講座、高校 3 年生中心の補習系講座のほか、大学教員・裁判官・プログラマー・工芸家などの外部講師による多種多様な講座を開講しました。また、安倍川奥の棚田における「農業体験～棚田で遊ぼう」などの人気講座も引き続き開講しました。
 - ・創立 60 周年という大きな節目を記念して挙行された第 60 回開校記念式においては、文筆家、思想家、そして武道家として多方面で卓見を示されている神戸女学院大学名誉教授・凱風館館長の内田樹氏を記念講演の講師としてお招きいたしました。「『風雲自在』『大象無形』『述而不作』～三つの言葉をめぐって、若い世代に贈る、内田流『人間が人間らしい社会を築いていくためのマインドセット』～」と題された記念講演では、次代を担う生徒たちへ向けて、混迷する現代社会を生き抜くための指針となる深い示唆を賜りました。
 - ② 全校ボランティア活動
 - ・8 月に東日本大震災の被災地を訪れる「東北ボランティア」(2泊3日)を実施しました。12 月には「避難所・避難生活学会」にて日頃の探究成果を発表し、知見を深めるとともに、校内で「避難所生活体験会」を開催して避難所の実情と課題を実体験から学ぶ機会を設けました。そして 3 月には、静岡マラソンの運営を補助するボランティア(2日間)に携わりました。その他、継続的なペットボトルキャップ回収や、プラスチック製文房具のリサイクル活動((株)パイロットコーポレーション協力)にも取り組んでいます。
 - ③ インターナショナルプログラム
 - ・生徒の英語 4 技能の向上を目的として、英語の授業にオンライン「Weblio 英会話」(中学 3 年生～高校 3 年生)と「Weblio study」(高校 1～3 年生)を導入しています。
 - ・11 月に高校 2 年生によるシンガポール・台湾への修学旅行、3 月に希望生徒によるオーストラリア語学研修、優秀生徒によるニュージーランド語学研修(派遣)を実施しました。
 - ④ 地域共生活動

- ・ 近隣の太田町商店街主催の「フェスタ太田町」に生徒会執行部・放送局・応援指導部・吹奏楽部・美術部が参加しました。その他、吹奏楽部は袖師地区青少年健全育成推進パレードにて演奏するなど、地域の活性に貢献しました。
- ・ 防災訓練等でも近隣町内との連携が密になっています。

⑤ 総合的学習の時間「緑風塾」

- ・ 高校 1・2 年生の緑風塾は、地元企業や市民との連携を通じた「シズクリプロジェクト」を導入しました。これにより、正解のない問いに対して対話や協働を重ね、自分たちならではの答えを生成的に導き出す「21 世紀型教育」へと学びの質を転換しました。自らが地域社会の課題を発掘し、その解決策を創造的にプレゼン発表するプロセスを通じて、「主体的・対話的で深い学び」をより高度な次元で実践しています。

⑥ 日本の伝統文化継承プログラム

- ・ 中学生の将棋・囲碁・かるた・日本画の和文化体験、礼法を含めたお茶会を実施しました。
- ◆ 中学生にも特色ある教育プログラムを体験してもらっています。英語力や国際的視野を育成する目的で、8 月・12 月にイングリッシュキャンプを 2 回開催しました。また、1 年生は英語集中プログラムを 3 日間実施、2 年生の自然体験教室ではオールイングリッシュのアクティビティに挑戦、3 年生の九州修学旅行では立命館アジア太平洋大学の留学生との英会話実践に取り組むなどしました。さらに、中学校として博報堂教育財団主催の「日本語交流プログラム」の活動を継続し、世界各国の生徒と交流を深めています。また、1 年生と 2 年生は地域企業連携探究型活動「シズクリプロジェクト」に参加しました。
- ◆ 防災対策として避難訓練、防災訓練を実施し、非常時の対応を学びました。また、防災以外の危機管理の充実を目的に作成した「危機管理マニュアル」の運用と検証を行っています。
- ◆ 大学合格者数は、国公立大 63 名、私立大では早慶上理関関同立 GMARCH 医の難関私大 100 名となり、そのうち私立大医学科に 5 名が合格しました。
- ◆ 部活動では、高校柔道部・高校卓球部・高校体操部・高校写真部・中学サッカー部・中学柔道部・応援指導部(中学)が全国大会に出場しました。そのうち、高校 3 年の川合遼さんが全国高等学校総合体育大会柔道競技男子 81kg 級で優勝、また、中学サッカー部が全国中学校サッカー大会で優勝し、見事日本一に輝きました。
- ◆ 静学祭はフルオープン開催となり、約 3,200 名もの来場者(本校生徒の家族、本校の卒業生、他の中学校・高校の生徒、近隣住民)で賑わいました。
- ◆ 一日体験入学や入試説明会も入場制限なしで実施し、毎回、中学は約 150 組、高校は約 750 組の小中学生とその保護者に参加していただきました。
- ◆ 本校オリジナル「静岡学園中学校・高等学校図書館図書 100 選」、「図書館ガイド」、新聞を用いた探究活動を記録する「教養科学の樹」(中学生対象)を配布しました。

【施設・設備関連】

- ◆ 私立学校施設整備費補助金を活用し、体育館棟アリーナの空調機を設置しました。
- ◆ 体育館棟、グラウンドの水銀灯及び蛍光灯を LED に更新しました。
- ◆ DX 加速化推進事業の補助金を活用し、大型液晶モニター 34 台を新たに設置しました。

[中期的な計画(教学・人事・施設・財務等)及び事業計画の進捗・達成状況]

建学の精神(孝友三心(服する心、感謝する心、全うする心))を教学の基本理念に掲げ、各設置校において、人間教育を実践しています。学校法人及び各設置校は、以下の基本戦略、重点政策を掲げた中期計画(2025年度～2029年度)及び事業計画に沿って、上記掲出の主な教育・研究の概要のとおり遂行しました。

(学校法人新静岡学園)

- I 財務状況の改善
- II 人事・組織の活性化
- III 法人運営、ガバナンス態勢の強化
- IV 危機管理及び法令遵守
- V 計画的な施設・設備の整備、整理
- VI 周辺諸団体等との連携強化

(静岡産業大学)

- I 静岡産業大学の将来構想の検討及び実施
- II 入学定員、収容定員を上回る入学者の確保
- III 教育の質の向上
- IV 地域発展、地方創生への貢献
- V 大学運営のための財務基盤の確立
- VI 大学運営の改善、効率化
- VII 中期計画の着実な遂行のための組織ガバナンスの強化

(静岡学園中学校・高等学校)

- I 教育内容とその充実
- II 入学者の質(学力)と定員の確保
- III 大学進学実績の向上
- IV 生徒・保護者の満足度の向上
- V 教員の質の向上と定数の適正化
- VI 施設・設備の充実
- VII 財務状況の改善

4 主な事業の実績

(1) 事業活動収支事業

(単位:千円)

事業名	所管部署	実績	主な実績
(磐田キャンパス(経営学部・スポーツ科学部))			
教職員研修事業	総務課	3,400	大学競争力強化調査研究費2,220、自己啓発研修 他
教員研究事業	〃	12,213	個人研究費、特別研究支援経費8人
地域課題解決事業	〃	3,494	静岡産業大学タンスのタベ、ふじのくに地域・大学コンソーシアム 他
施設・設備一般管理事業	〃	106,539	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費、火災保険料 他
施設・設備等修繕事業	〃	13,756	第2SCアリーナ床、給水ポンプ、高圧ケーブル、一般修繕費用
教務管理事業	教務課	9,498	授業用消耗品、保育士養成塾、ジェネリックスキル測定テスト費用 他
寄付講座実施事業	〃	203	6講座
学生課外活動等支援事業	学生支援課	23,864	部会26団体、愛好団体14団体の活動支援費
奨学支援事業	〃	199,602	新規77人、継続171人、修学支援新制度214人
学生支援課運営事業	〃	477	国際交流推進経費 他
就職支援事業	キャリア支援課	8,081	両学部合同企業ガイダンス、インターンシップ、キャリアカウンセラー費用 他
公務員試験対策講座事業	〃	3,371	公務員塾関連経費
図書館管理運営事業	図書館課	3,772	データベース、和洋雑誌、新聞購入、図書館運営経費
企画調整室運営事業	企画調整室	1,571	経営改革推進事業費1,000、廈門大学国際学院創設20周年記念式典経費 他
入学試験事業	入試・広報課	10,636	入試関連経費 他
説明会・ガイダンス・高校訪問事業	〃	4,711	大学説明会、進学ガイダンス・高校訪問経費
オープンキャンパス事業	〃	3,256	オープンキャンパス経費
媒体広告事業	〃	22,800	進学情報誌・サイト、クロスメディア、DM、看板、各種広告製作、SSU NEWS等発行 他
大学案内・大学ホームページ事業	〃	9,491	大学案内企画制作費・印刷費、HP更新費・改修費 他
情報システム事業	情報システム課	30,932	コンピュータ整備、システム保守、インターネット回線費用 他
総合研究所運営事業	総合研究所	3,461	受託事業及び資格取得講座等運営費用 他
スポーツ振興事業	スポーツ振興部	59,737	クラブコーチ外部委託費・旅費交通費、クラブスカウト活動費用 他
総合型地域スポーツクラブ事業	〃	18,891	スポーツクラブ運営費用 他
スポーツ教育研究センター事業	〃	490	セミナー費用、『スポーツと人間』発行費用 他
(藤枝キャンパス(経営学部))			
教職員研修事業	総務課	4,446	大学競争力強化調査研究費3,776、職場研修、自己啓発研修 他
教員研究事業	〃	5,981	個人研究費、特別研究支援経費4人
地域課題解決事業	〃	1,734	藤枝市地域政策研究・創造事業 他
施設・設備一般管理事業	〃	46,508	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費、火災保険料 他
施設・設備等修繕事業	〃	5,395	6号館給水管漏水修繕、食堂排水漏水修繕、3号館汚水排水ポンプ修繕 他
サテライトキャンパス事業	〃	9,722	藤枝駅前サテライトキャンパス運営費用
教務管理事業	教務課	5,217	授業用消耗品、シラバス等印刷費、ジェネリックスキル測定テスト費用 他
寄付講座実施事業	〃	182	7講座
日本語教育研究センター事業	〃	680	俳句コンテスト用印刷物、日本語能力試験N2受験支援 他
学生課外活動等支援事業	学生支援課	5,861	部活動支援 他
奨学支援事業	〃	108,972	新規 491人、継続 208人、修学支援新制度 117人
学生支援課運営事業	〃	523	国際交流推進経費 他
就職支援事業	キャリア支援課	3,502	両学部合同企業ガイダンス、インターンシップ、就職支援経費 他
公務員試験対策講座事業	〃	2,423	公務員塾関連経費
図書館管理運営事業	図書館課	5,656	データベース、和洋雑誌、新聞購入、図書館運営経費
美術館運営事業	〃	365	企画展用の印刷物や消耗品の購入 他
企画調整室運営事業	企画調整室	1,991	経営改革推進事業費886、企画調整室運営経費
入学試験事業	入試・広報課	9,911	入試関連経費 他
説明会・ガイダンス・高校訪問事業	〃	3,415	大学説明会、進学ガイダンス・高校訪問経費
オープンキャンパス事業	〃	2,257	オープンキャンパス経費
媒体広告事業	〃	14,320	進学情報誌・サイト、クロスメディア、DM、看板、各種広告製作、SSU NEWS等発行 他
大学案内・大学ホームページ事業	〃	6,393	大学案内企画制作費・印刷費、HP更新費・改修費 他
情報システム事業	情報システム課	27,298	コンピュータ整備、システム保守、インターネット回線費用 他
総合研究所運営事業	総合研究所	7,879	受託事業及び資格取得講座等運営費用 他
スポーツ振興事業	スポーツ振興部	5,627	クラブコーチ外部委託費・旅費交通費、クラブスカウト活動費用 他

(単位:千円)

事業名	所管部署	実績	主な実績
(高等学校)			
教職員研修事業	高校事務局	3,085	授業評価アンケート、教員資質向上研修、職員研修 他
施設・設備一般管理事業	〃	60,328	施設統括管理、各種保守管理、光熱水費 他
施設・設備等修繕事業	〃	4,885	谷田グラウンド人工芝修繕、一般修繕費用
奨学支援事業	〃	70,437	奨学生 新規 302人、継続 195人
全国大会出場支援事業	〃	18,726	高校総体、サッカープレミアリーグ等 出場旅費支援
生徒募集事業	〃	15,420	体験入学・説明会・相談会、学校案内制作・印刷費 他
ICTインフラ整備事業	情報管理課	12,791	教員用ipad通信費、SE業務委託費用、システム保守 他
国際交流事業	国際交流課	4,259	ニュージーランドへの優秀生徒派遣、オーストラリア研修 他
SGT事業	学び支援課	859	教材費、外部講師謝礼、交通費 他
(中学校)			
施設・設備一般管理事業	中学事務局	11,733	施設統括管理、各種保守管理、警備料 他
奨学支援事業	〃	5,794	奨学生 新規 19人、継続 20人
全国大会出場支援事業	〃	2,722	全国大会出場旅費支援(サッカー、柔道、卓球)
生徒募集事業	〃	8913	体験入学・説明会・相談会、学校案内制作・印刷費 他
ICTインフラ整備事業	情報管理課	3,584	教員用ipad通信費、SE業務委託費用 他
SGT事業等 新教育に関する事業	学び支援課 他	1,132	教材費、外部講師謝礼、交通費、フィールドワーク交通費
教務管理事業	中学校	4,781	教材費、シツクリ事業費、水泳訓練旅費 他
(法人事務局)			
人事管理運営事業	総務課	10,847	派遣費用、人事・給与システム導入・保守費用、採用経費 他
法人研修事業	〃	745	事務職員合同研修会、外部研修 他
法人広報・渉外事業	〃	2,598	戦略広報経費、ビジョンメイクプロジェクト費用 他
理事会・評議員会等運営事業	〃	2,372	理事会、評議員会、常任理事会開催費用
会計事務管理事業	〃	1,457	会計システム保守費用 他
各種システム再構築事業	〃	828	業務系サーバ運用ネットワーク整備 他

(2) 施設整備等活動収支事業

(単位:千円)

事業名	所管部署	実績	主な実績
(磐田キャンパス(経営学部・スポーツ科学部))			
施設整備事業	総務課	46,920	2号館空調機更新工事、電話設備更新工事、スポーツセンター更衣室給湯器更新 他
公用車更新事業	〃	18,188	バス(日野メルファ)1台
情報関連設備整備事業	情報システム課	9,764	クラウドプロキシ他一式導入、統合ファイルサーバー 他
(藤枝キャンパス(経営学部))			
施設整備事業	総務課	7,896	非常照明更新、フットサルコート照明LED化工事、BiViキャン教室AV機器更新 他
情報関連設備整備事業	情報システム課	13,186	クラウドプロキシ他一式導入、統合ファイルサーバー、学生貸出し用PC、新規職員用PC
(高等学校)			
教室整備事業	高校事務局	67,957	教育棟・体育館棟・グラウンド照明LED化工事、体育館アリーナ空調設備工事 他
ICTインフラ整備事業	情報管理課	7,413	教育棟4階無線AP更新、クラウドプロキシ他一式導入
視聴覚備品等整備事業	教務課	10,034	液晶モニター34台
(中学校)			
ICTインフラ整備事業	情報管理課	1,804	教育棟1階無線AP更新、クラウドプロキシ他一式導入

Ⅲ 財務の概要

1 資産、負債等について

○ 貸借対照表の概要

学校法人の「貸借対照表」は、教育活動のために必要な資産の保有状況を表示するものであります。

本法人の貸借対照表の概要は、次のとおりであります。

【資産の部】

(単位:千円)

科目	2025年度末	2024年度末	2023年度末	2022年度末	2021年度末
固定資産	14,162,111	14,467,804	14,790,425	14,982,073	14,838,072
有形固定資産	14,051,410	14,385,686	14,700,874	14,888,795	14,734,824
土地	6,038,350	6,038,350	6,038,350	6,038,350	6,038,350
建物	6,679,409	6,948,241	7,177,167	7,287,751	7,102,788
構築物	230,827	285,584	371,929	425,263	491,319
教育研究用機器備品	409,306	430,833	420,920	429,875	411,890
図書	619,845	620,845	621,788	631,814	626,330
建設仮勘定	0	0	0	0	155
特定資産	61,630	39,245	45,878	49,613	54,806
その他の固定資産	49,070	42,872	43,672	43,665	48,441
流動資産	3,299,306	3,326,856	3,113,778	3,078,367	3,140,566
現金預金	3,095,425	3,095,350	2,923,037	2,803,018	2,853,345
資産の部合計	17,461,418	17,794,660	17,904,203	18,060,441	17,978,639

【負債及び純資産の部】

科目	2025年度末	2024年度末	2023年度末	2022年度末	2021年度末
固定負債	491,450	473,771	472,156	468,364	462,208
退職給与引当金	491,450	473,771	472,156	468,364	462,208
流動負債	666,728	570,146	497,260	588,494	606,427
前受金	312,647	290,543	283,308	318,289	339,612
賞与引当金	133,028	0	0	0	0
負債の部合計	1,158,179	1,043,918	969,416	1,056,858	1,068,636
基本金	23,960,034	23,805,512	23,662,707	23,361,605	22,733,832
繰越収支差額	△ 7,656,795	△ 7,054,770	△ 6,727,920	△ 6,358,023	△ 5,823,830
純資産の部合計	16,303,239	16,750,741	16,934,786	17,003,582	16,910,002
負債及び純資産の部合計	17,461,418	17,794,660	17,904,203	18,060,441	17,978,639

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

2 事業活動収支について

○ 事業活動収支計算書の概要

「事業活動収支計算書」は、学校法人の当該会計年度における教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動の3つの活動区分ごとに、事業活動収入及び事業活動支出の内容と、その均衡状態を明らかにし、学校経営の健全性を維持するための指標であります。

本法人の事業活動収支計算の決算の概要は、次のとおりであります。

(単位:千円)

科目		2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,399,737	2,515,203	2,694,926	2,749,924	2,652,651
	手数料	76,726	72,781	75,561	71,158	74,080
	寄付金	24,914	41,058	29,075	27,048	30,199
	経常費等補助金	950,317	894,136	927,485	911,162	832,116
	付随事業収入	56,488	58,007	55,548	52,435	91,086
	雑収入	86,972	175,053	99,565	161,581	172,633
	教育活動収入計	3,595,156	3,756,241	3,882,162	3,973,311	3,852,767
	事業活動支出の部					
	人件費	2,004,252	2,040,254	1,974,864	2,022,925	2,044,863
	教育研究経費	1,545,797	1,482,369	1,533,688	1,495,088	1,370,798
	減価償却額	465,881	471,661	464,095	454,631	470,145
	管理経費	395,435	429,454	445,842	424,530	431,281
	減価償却額	66,137	64,033	57,079	57,353	57,972
徴収不能額等	0	0	4,601	0	0	
教育活動支出計	3,945,485	3,952,079	3,958,996	3,942,544	3,846,944	
教育活動収支差額	△ 350,328	△ 195,837	△ 76,833	30,766	5,823	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	4,556	886	1,021	882	804
	その他の教育活動外収入	300	1,739	300	300	275
	教育活動外収入計	4,856	2,626	1,321	1,182	1,079
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	89
教育活動外支出計	0	0	0	0	89	
教育活動外収支差額	4,856	2,626	1,321	1,182	990	
経常収支差額	△ 345,471	△ 193,211	△ 75,512	31,949	6,813	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	582	4	0	816	0
	その他の特別収入	32,638	17,546	23,089	70,191	32,993
	特別収入計	33,221	17,550	23,089	71,007	32,993
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	8,047	8,383	16,373	9,376	1,546
その他の特別支出	127,204	0	0	0	0	
特別支出計	135,251	8,383	16,373	9,376	1,546	
特別収支差額	△ 102,030	9,167	6,716	61,630	31,446	
基本金組入前当年度収支差額	△ 447,502	△ 184,044	△ 68,796	93,580	38,260	
基本金組入額	△ 154,522	△ 143,324	△ 301,101	△ 627,773	△ 202,034	
当年度収支差額	△ 602,025	△ 327,368	△ 369,897	△ 534,192	△ 163,774	
前年度繰越収支差額	△ 7,054,770	△ 6,727,920	△ 6,358,023	△ 5,823,830	△ 5,660,056	
基本金取崩額	0	518	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 7,656,795	△ 7,054,770	△ 6,727,920	△ 6,358,023	△ 5,823,830	
(参考)						
事業活動収入計	3,633,234	3,776,418	3,906,573	4,045,502	3,886,840	
事業活動支出計	4,080,736	3,960,462	3,975,369	3,951,921	3,848,580	

注) 各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて表示しています。

3 資金収支について

○ 資金収支計算書の概要

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容と、その支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

本法人の資金収支計算の決算の概要は、次のとおりであります。

なお、2025年度の施設関係支出には、磐田キャンパスの2号館空調設備更新工事、静岡キャンパスの体育館アリーナ空調設備工事、教育棟・体育館棟・グラウンド照明LED化工事に係る費用を含んでおり、設備関係支出には、磐田キャンパスのバス1台購入に係る費用を含んでおります。

【収入の部】

(単位:千円)

科 目	2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
学生生徒等納付金収入	2,399,737	2,515,203	2,694,926	2,749,924	2,652,651
手数料収入	76,726	72,781	75,561	71,158	74,080
寄付金収入	30,504	44,046	34,795	39,853	50,359
補助金収入	971,060	901,653	934,943	961,162	839,791
資産売却収入	583	4	0	816	0
付随事業・収益事業収入	56,488	58,007	55,548	52,435	91,086
受取利息・配当金収入	4,556	886	1,021	882	804
雑収入	86,851	175,053	99,565	161,581	172,633
前受金収入	312,647	290,543	283,308	318,289	339,612
その他の収入	243,354	216,411	287,083	327,173	262,298
資金収入調整勘定	△ 421,775	△ 441,864	△ 445,551	△ 535,220	△ 582,539
前年度繰越支払資金	3,095,350	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326
収入の部合計	6,856,084	6,755,764	6,824,220	7,001,403	6,496,104

【支出の部】

科 目	2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
人件費支出	1,980,627	2,038,638	1,971,072	2,016,770	2,008,013
退職金支出	37,480	125,834	61,090	127,222	121,220
教育研究経費支出	1,079,915	1,010,708	1,069,592	1,040,050	900,653
奨学費支出	422,074	324,301	345,892	396,910	348,465
管理経費支出	329,297	365,421	388,763	367,176	373,309
借入金等利息支出	0	0	0	0	89
借入金等返済支出	0	0	0	0	25,248
施設関係支出	103,870	122,598	255,287	531,162	170,085
設備関係支出	101,787	99,250	84,428	132,676	56,164
資産運用支出	94,632	74,760	69,287	101,005	84,914
その他の支出	131,994	75,790	132,195	111,724	114,635
資金支出調整勘定	△ 61,466	△ 126,755	△ 69,444	△ 102,181	△ 90,356
翌年度繰越支払資金	3,095,425	3,095,350	2,923,037	2,803,018	2,853,345
支出の部合計	6,856,084	6,755,764	6,824,220	7,001,403	6,496,104

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

○活動区分資金収支計算書

「活動区分資金収支計算書」は、資金収支計算書に記載される資金収入及び資金支出の決算額を「教育活動による資金収支」、「施設整備等の活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の活動ごとに区分して記載する計算書であります。

(単位:千円)

科目	2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,595,034	3,756,241	3,882,162	3,973,311	3,852,767
教育活動資金支出計	3,389,840	3,414,769	3,429,428	3,423,997	3,281,976
差引	205,194	341,472	452,734	549,314	570,790
調整勘定等	117	36,571	1,891	△ 4,256	△ 75,987
教育活動資金収支差額	205,311	378,044	454,625	545,057	494,803
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	26,916	10,509	13,178	63,621	27,835
施設整備等活動資金支出計	205,657	221,849	339,715	663,839	226,250
差引	△ 178,741	△ 211,339	△ 326,537	△ 600,217	△ 198,415
調整勘定等	△ 16,070	△ 5,574	△ 1,738	9,949	△ 7,308
施設整備等活動資金収支差額	△ 194,812	△ 216,914	△ 328,276	△ 590,268	△ 205,723
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	10,499	161,130	126,348	△ 45,211	289,079
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	89,354	173,164	93,529	122,155	89,258
その他の活動資金支出計	99,778	161,981	99,859	127,270	120,318
差引	△ 10,424	11,183	△ 6,330	△ 5,115	△ 31,060
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 10,424	11,183	△ 6,330	△ 5,115	△ 31,060
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	75	172,313	120,018	△ 50,326	258,019
前年度繰越支払資金	3,095,350	2,923,037	2,803,018	2,853,345	2,595,326
翌年度繰越支払資金	3,095,425	3,095,350	2,923,037	2,803,018	2,853,345

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

3-2 施設整備等活動(設備投資)関連収支について

限られた収入の中で、安定した財政基盤を維持しつつ、必要な施設整備を実施していくため、本法人では、投資する資金額に対応した財源の確保を目的として、各種資産の取得に関連する収支を抽出、整理して管理しています。

本法人の固定資産(設備投資)関連収支の実績は、次のとおりであります。

なお、2025年度の施設設備寄付金は、藤枝キャンパスのグラウンド照明助成、食堂ティーサーバー・消毒保管庫更新助成を、現物寄付には静岡キャンパスの事務室前設置ガラスショーケースを、施設設備補助金は、静岡キャンパスの高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金(高等学校DX加速化推進事業)、私立学校施設整備費補助金(私立学校教育研究装置等施設整備費(私立高等学校等施設高機能化整備費))を含んでおります。

【施設整備等活動収支】

(単位:千円)

科目		2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
収 入	施設設備寄付金	5,590	2,988	5,720	12,805	20,160
	現物寄付	6,305	7,041	9,911	7,386	5,158
	施設設備補助金	20,743	7,517	7,458	50,000	7,675
	事業活動収入小計	32,638	17,546	23,089	70,191	32,993
	借入金	0	0	0	0	0
	引当特定資産からの繰入	0	0	0	0	0
	資産売却その他	583	4	0	816	0
	資金収入小計	583	4	0	816	0
	収入合計	33,221	17,550	23,089	71,007	32,993
支 出	借入金等返済	0	0	0	0	25,248
	土地	0	0	0	0	0
	建物	80,936	121,267	225,678	513,216	161,696
	構築物	22,933	1,331	29,609	17,946	8,233
	建設仮勘定	0	0	0	0	155
	機器備品	71,590	94,095	79,151	104,206	50,384
	図書	5,875	5,155	5,276	6,527	5,780
	車両	18,150	0	0	21,942	0
	ソフトウェア	6,171	0	0	0	0
	その他	307	205	430	467	1,140
	支出合計	205,965	222,054	340,145	664,306	252,638
収支差額	△ 172,744	△ 204,504	△ 317,056	△ 593,299	△ 219,645	
事業活動収入との重複分調整	△ 32,638	△ 17,546	△ 23,089	△ 70,191	△ 32,993	
留保資金からの充当額	205,382	222,050	340,145	663,490	252,638	

注) 各科目の決算額は千円未満を切り捨てて表示しています。

4 収益事業(指定管理事業)の状況について

2017年10月から、藤枝市が「教育・文化の拠点」、「産学官での人の流れをつくる情報ビジネス創造拠点」として設置した「藤枝市産学官連携推進センター」の指定管理業務を受託し、同施設の運営管理事業を開始しました。

当該事業の貸借対照表及び損益計算書の概要は、次のとおりであります。

【貸借対照表】

(単位:千円)

科 目	2025年度末	2024年度末	2023年度末	2022年度末	2021年度末
流動資産	13,936	14,288	12,278	11,519	11,883
固定資産	0	0	0	0	0
資産合計	13,936	14,288	12,278	11,519	11,883
流動負債	0	0	12	354	285
固定負債	0	0	0	0	0
負債合計	0	0	12	354	285
純資産合計	13,936	14,288	12,266	11,165	11,598
元入金	33,488	33,488	33,488	33,488	33,488
利益剰余金	△ 19,551	△ 19,199	△ 21,221	△ 22,322	△ 21,889
負債・純資産合計	13,936	14,288	12,278	11,519	11,883

【損益計算書】

科 目	2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度
営業収益合計	9,587	10,081	10,512	9,534	9,859
営業費用合計	9,939	9,634	9,411	9,966	7,861
営業利益	△ 351	446	1,100	△ 432	1,997
営業外収益合計	0	1,575	0	0	0
営業外費用合計	0	0	0	0	0
経常利益	△ 351	2,021	1,100	△ 432	1,997
当期純利益	△ 351	2,021	1,100	△ 432	1,997

注) 各科目の決算額は 千円未満を切り捨てて表示しています。

<参考資料>

財務比率の推移

(単位：%)

項目	部門	静岡産業大学				静岡学園中・高等学校			合計	純計
		経営学部	情報学部	スポーツ 科学部	計	高等学校	中学校	計		
人件費比率 ▼ 人件費 経常収入	2021年度	45.4	76.0	53.4	48.2	58.3	63.1	59.1	53.1	53.1
	2022年度	45.0	164.1	42.2	45.5	58.3	58.0	58.3	50.9	50.9
	2023年度	47.4	—	40.0	45.7	56.3	60.4	56.9	50.9	50.9
	2024年度	49.8	—	45.5	48.4	60.4	59.6	60.3	54.3	54.3
	2025年度	55.2	—	43.4	51.2	60.2	60.9	60.3	55.7	55.7
人件費依存率 ▼ 人件費 学生生徒等納付金	2021年度	57.6	97.6	74.8	61.6	115.3	120.3	116.3	77.1	77.1
	2022年度	56.7	172.6	55.4	57.6	116.3	110.9	115.3	73.6	73.6
	2023年度	58.5	—	51.1	56.9	113.7	114.0	113.8	73.3	73.3
	2024年度	61.8	—	57.3	60.4	134.6	112.8	130.6	81.1	81.1
	2025年度	69.6	—	57.5	65.6	127.7	119.2	126.2	83.5	83.5
教育研究費比率 △ 教育研究経費 経常収入	2021年度	35.0	29.9	61.9	36.7	36.1	21.0	33.5	35.6	35.6
	2022年度	37.1	32.5	47.0	38.5	38.3	25.0	36.0	37.6	37.6
	2023年度	38.4	—	38.6	38.5	44.1	26.6	41.3	39.5	39.5
	2024年度	44.1	—	37.2	41.9	38.6	21.7	35.9	39.4	39.4
	2025年度	49.6	—	43.4	47.4	37.8	23.8	35.4	42.9	42.9
管理経費比率 ▼ 管理経費 経常収入	2021年度	11.8	9.3	31.8	13.1	4.6	5.9	4.8	11.2	11.2
	2022年度	11.4	9.7	21.1	12.7	4.3	6.0	4.6	10.7	10.7
	2023年度	13.9	—	14.2	13.9	4.3	6.1	4.6	11.5	11.5
	2024年度	15.0	—	13.5	14.6	3.7	5.5	4.0	11.4	11.4
	2025年度	14.0	—	12.9	13.6	3.5	5.3	3.8	11.0	11.0
事業活動支出比率 ▼ 事業活動支出 経常収入	2021年度	94.1	115.2	148.3	99.7	102.4	90.1	100.2	102.1	99.9
	2022年度	95.3	230.4	112.1	98.7	103.9	89.2	101.4	101.5	99.4
	2023年度	102.1	—	95.0	100.5	107.5	94.0	105.3	104.3	102.4
	2024年度	110.7	—	98.7	107.0	105.9	86.8	102.9	107.5	105.4
	2025年度	124.6	—	103.7	117.4	109.3	93.4	106.6	115.7	113.4
学生生徒等納付金比率 ◇ 学生生徒等納付金 経常収入	2021年度	78.9	77.9	71.4	78.2	50.5	52.4	50.9	68.8	68.8
	2022年度	79.4	95.1	76.0	79.0	50.2	52.3	50.5	69.2	69.2
	2023年度	81.0	—	78.3	80.4	49.5	53.0	50.0	69.4	69.4
	2024年度	80.6	—	79.4	80.2	44.9	52.8	46.2	66.9	66.9
	2025年度	79.3	—	75.4	78.0	47.1	51.1	47.8	66.7	66.7
補助金比率 △ 補助金 事業活動収入	2021年度	11.5	12.7	10.0	11.4	40.8	41.9	41.0	21.1	21.6
	2022年度	14.7	0.0	16.5	14.9	40.0	45.2	40.9	23.3	23.8
	2023年度	12.6	—	13.0	12.7	43.5	44.4	43.7	23.5	23.9
	2024年度	11.5	—	12.5	11.8	43.6	44.6	43.8	23.4	23.9
	2025年度	14.1	—	15.0	14.4	47.3	45.4	47.0	26.1	26.7

(注)・「項目」欄の△は高い値が良いもの、▼は低い値が良いもの、◇は一概にどちらともいえないものを示す。

・「純計」は、「合計」から学内振替分を除いた場合の数値。

2025年度附属明細書

2025年度事業報告書の内容を補足する重要な事項がないため、附属明細書は作成していない。

学校法人新静岡学園